

# はりうす



小樽市立張碓小学校



- <教育目標>  
○学習にはげむ子ども  
○礼儀正しい子ども  
○健康な子ども

第10号

令和7年12月24日

## 努力の壺(つぼ)

小樽市立張碓小学校長 増田昭雄

本日で2学期も終わり、冬休み中に新しい年を迎えます。何事にも前向きに取り組む張碓小の子どもたちが、新年更に伸びることを願って、「努力の壺」のお話を紹介いたします。

努力のつぼ 角野 愛（小学校1年）

「お母さん、努力のつぼの話、またして。」「うん、いいよ。今度はなあに。」「逆上がり。」「あらあら、まだいっぱいになっていなかつたのね。随分大きいねえ。」と言いながら、お母さんは椅子を引いて、私の前に座りました。そして、もう何回もしてくれた努力のつぼの話をまたゆっくりと始めました。それはこんな話です。

人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思ったとき、神様から努力のつぼをもらいます。そのつぼはいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいのやら小さいのやらいろいろあります。そして、そのつぼは、その人の目には見えないです。でも、その人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」があふれるとき、つぼの大きさが分かるというのです。だから、休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできるときがくるのです。

私は、この話が大好きです。幼稚園のとき、初めてお母さんから聞きました。そのときは、横ばしごの練習をしているときでした。それから一輪車や、鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でも頑張ってやっているとき、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。

くじけそうになったときでも、この話を聞いていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして、私の「努力」がもう少しであふれそうに見えるのです。だから、また頑張る気持ちになれます。

お母さんの言う通り、今度の逆上がりのつぼは、随分大きいみたいです。逆上がりを始めてから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも、今度こそ、あと少しであふれそうな気がします。だから、明日からまた頑張ろうと思います。お母さんは「つぼが大きいととても大変だけど、中味がいっぱいあるから、あなたのためになるよ。」と言ってくれるけど、今度神様にもらうときは、もう少し小さいつぼがいいなあと思います。

『朝日作文コンクール 子どもを変えた親の一言 作文25選』(明治図書)

新年も、子どもたちが、どんな「壺」にどんな「努力」を注ぎ込んでいくのかとても楽しみです。自分の夢や目標に向かって努力を続けることで、更なる成長につなげていってほしいと心から願っています。明日より22日間の冬休みをを迎えます。交通安全や健康に十分注意し、有意義な冬休みにしてほしいと思います。

保護者、地域の皆様には、2学期も張碓小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆様、よいお年をお迎えください。

## 「情報モラル教室」全学級

12月11日（木）に（株）アフォーダンスの長野さんを講師にお招きし、情報モラル教室を実施しました。江戸時代は「飛脚」が何日もかけて「情報」を伝える役割を果たしていたのに、今では瞬時に世界中に「情報」を発信できてしまうこと、一度発信されてしまうと消すことは困難なこと、ネットトラブルの主な原因是、伝えようとしている言葉が相手に正しく伝わらないこと等分かりやすく話してくださいました。最後に、一日をどんなことに使うかバランスが大事であることや情報を正しく伝えるには「国語の力」が必要であることを聞き、子どもたちは納得した表情でうなずいていました。



## 第2回避難訓練を実施しました

12月10日（水）に地震とそれに伴い火災が発生したという想定のもと、避難訓練を実施しました。子どもたちは、出火場所と避難場所を正しく聞き取り、担任の指示のもと一次避難場所である体育館へ避難しました。避難の様子を見ていただいた小樽消防署錢函支署の方から「お・は・し・も」の確認と8日（月）夜に発生した青森県沖の地震に触れ、地震や火災はいつ起きるかわからないこと、だからこそ、日頃からどのように対応するか準備をしておくことが大事であると講話をいただきました。また、増田校長から、近くに先生がいないときは自分たちで判断し、「自分の命は自分で守る」ために行動することが大切であると話があり、子どもたちは真剣な表情で聞いていました。



## 「いじめ防止サミット」児童会

12月3日（水）に錢函中学校区4校の児童会・生徒会のメンバーがオンラインにより「いじめ防止サミット」を実施しました。「いじめをしないさせない見逃さない許さない」を意識した取組について各校から発表して交流するとともに、4校共通での取組について検討し、「あいさつ運動」と「全校で集まって交流を深める」取組が確認されました。そこで、児童会では、月初めの3日間の「あいさつ運動」を継続し、運動集会や全校遊びで交流を深めることができました。



## 「ヤングケアラー講習会」5・6年生

11月21日（月）に道ヤングケアラー相談サポートセンター長の加藤さんを講師にお招きし、5・6年生を対象に、ヤングケアラー講習会を実施しました。近年、話題になっている「ヤングケアラー」について、子どもたちが正しく理解し、対応できるようにすることが目的です。誰でも家族をケアするときがくること、友達や仲間、周りにヤングケアラーがいたときに助けてあげられること、家族のお世話やお手伝いで自分が壊れないように、その家族と同じくらい自分も大切にすること等この先誰にでも起きることへの対応について理解を深めることができました。



## 「人権教室」1・2年生

12月10日（水）に小樽人権擁護協議会委員の中川さんと一柳さんを講師にお招きし、1・2年生を対象に、人権教室を実施しました。誰もが持っている「人権」をテーマに、ペーパーサートを活用して役になりきって、友達の気持ちを一緒に考えました。また、「てっちゃんの夢」という劇を通して、友達同士、お互いに理解することが大切であることを学ぶことができました。



## 「高齢者疑似体験教室」3・4年生

12月10日（水）に小樽市社会福祉協議会の木下さんと神田さんを講師にお招きし、3・4年生を対象に、高齢者疑似体験教室を実施しました。年齢を重ねることで生じる体の変化や生活の工夫について理解を深めることができます。子どもたちは、高齢者疑似体験セットを装着し、階段の上り下りをしたり、豆をはしてつかんだりする活動などを体験することで高齢者の方が感じている苦労や困難を実感しました。



お年寄りに対する思いやりの気持ちをもち、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができました。

## 個人面談、ありがとうございました！

12月17日（水）から19日（金）の3日間にわたり、個人面談を行い、2学期のお子さんの学習面や生活面を中心に努力したこと等についてお話をいただきました。お子さんについて、学校とご家庭で共有できたことを今後の学級づくりやお子さんへの支援に生かしてまいります。何か気になることがありましたら、いつでも学校までご連絡いただきますようお願いします。学校と家庭が力を合わせ、共に考え、子どもたちを守り、育てていきましょう。

## 充実した楽しい冬休みを！

明日から冬休みが始まります。次のこと気につけて、充実した楽しい冬休みにしていただきたいと思います。

- ①外出の際は、雪による見通しの悪さ等に注意し、雪の事故にあわないように気をつける。
- ②ネットトラブル等にあわないように気をつけ、困ったときは、大人に相談する。
- ③生活リズムが乱れないように規則正しい生活を心がけ、体調を崩さないように気をつける。